

令和 5 年度

富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科

総合型選抜

グループディスカッション A

<評価視点>

グループディスカッションにおける取り組み姿勢・発言内容から、主体性、積極性、協働性を評価します。

注意事項

- 試験中は監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は不正行為になる事があります。
- 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- この問題冊子には、表紙および白紙を除いて課題用紙が 1 枚あります。開始の合図があつてから確認してください。なお、文字等の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等があった場合には、監督者に申し出てください。
- ディスカッションの時間は 40 分間です。
- トイレ等により部屋から出る場合には、監督者に申し出て指示に従ってください。
- 他の受験生を不快にさせるような言動は禁止します。
- この問題冊子は、試験終了後持ち帰ってください。
- 試験中はマスクを着用してください。なお本人確認（写真照合）のため、監督者より一時的にマスクを外すよう求められることがあります。その際には監督者の指示に従ってください。
- 試験中、必要に応じて立ち歩いても構いません。ただし、その場合にあっても他の受験生との距離は適切に保ち、ソーシャルディスタンスを確保するよう注意してください。
- ホワイトボードマーカーとイレーザーは、各自に割り当てられたもののみを使用してください。他の受験生との貸し借りや共有は行わないでください。

実施年月日
4.10.14
富山大学

(白紙)

課題用紙

A駅は、ある地方都市の鉄道駅であり、朝夕のラッシュ時には通勤や通学の利用者で非常に混雑するが、平日の昼間は利用者が少ない。この駅のプラットフォームは、ラッシュ時の多くの利用者を想定してつくられているため、平日の昼間は閑散とし、広い空間的余裕が生まれる。この空間を有効に活用できれば、駅の魅力が向上し、さらに駅周辺のにぎわいにもつながると考えられる。そこで、鉄道事業者、鉄道利用者、周辺住民、自治体などの関係者が協力して、平日の昼間のプラットフォーム上の余裕空間を有効に活用する方法を検討することとした。

以上の想定をもとに、グループディスカッションを次の手順で進めなさい。

1. グループのメンバーを鉄道事業者、鉄道利用者、周辺住民、自治体などの関係者に分ける。
2. いずれの立場にとっても魅力的な企画となるよう議論を進める。
3. 立案した企画をわかりやすくホワイトボードにまとめる。
4. 試験終了時刻まで、より良い企画になるよう議論を続ける。

令和 5 年度

富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科

総合型選抜

グループディスカッション B

<評価視点>

グループディスカッションにおける取り組み姿勢・発言内容から、主体性、積極性、協働性を評価します。

注意事項

- 試験中は監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は不正行為になる事があります。
- 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- この問題冊子には、表紙および白紙を除いて課題用紙が 1 枚あります。開始の合図があつてから確認してください。なお、文字等の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等があった場合には、監督者に申し出てください。
- ディスカッションの時間は 60 分間です。
- トイレ等により部屋から出る場合には、監督者に申し出て指示に従ってください。
- 他の受験生を不快にさせるような言動は禁止します。
- この問題冊子は、試験終了後持ち帰ってください。
- 試験中はマスクを着用してください。なお本人確認（写真照合）のため、監督者より一時的にマスクを外すよう求められることがあります。その際には監督者の指示に従ってください。
- 試験中、必要に応じて立ち歩いても構いません。ただし、その場合にあっても他の受験生との距離は適切に保ち、ソーシャルディスタンスを確保するよう注意してください。
- ホワイトボードマーカーとイレーザーは、各自に割り当てられたもののみを使用してください。
他の受験生との貸し借りや共有は行わないでください。

実施年月日
4.10.14
富山大学

(白紙)

課題用紙

図のように 200 mm の間隔をあけて設置された 2 つの橋台（2 脚の机）と、ひもがついた 3 種類のおもり（0.5 l, 1 l, および 1.5 l の水を入れたペットボトル）がある。

1 枚の A4 サイズ（210 mm × 297 mm）のコピー用紙と 2 枚以内の接着用シール（8 mm × 20 mm）を用いて、2 つの橋台の間の中央に、より重いおもりをぶら下げられる構造物を製作したい。

どのような構造物を、どのように製作すればより重いおもりをぶら下げられるか、グループで議論しながら試行錯誤し、ホワイトボードにまとめなさい。

